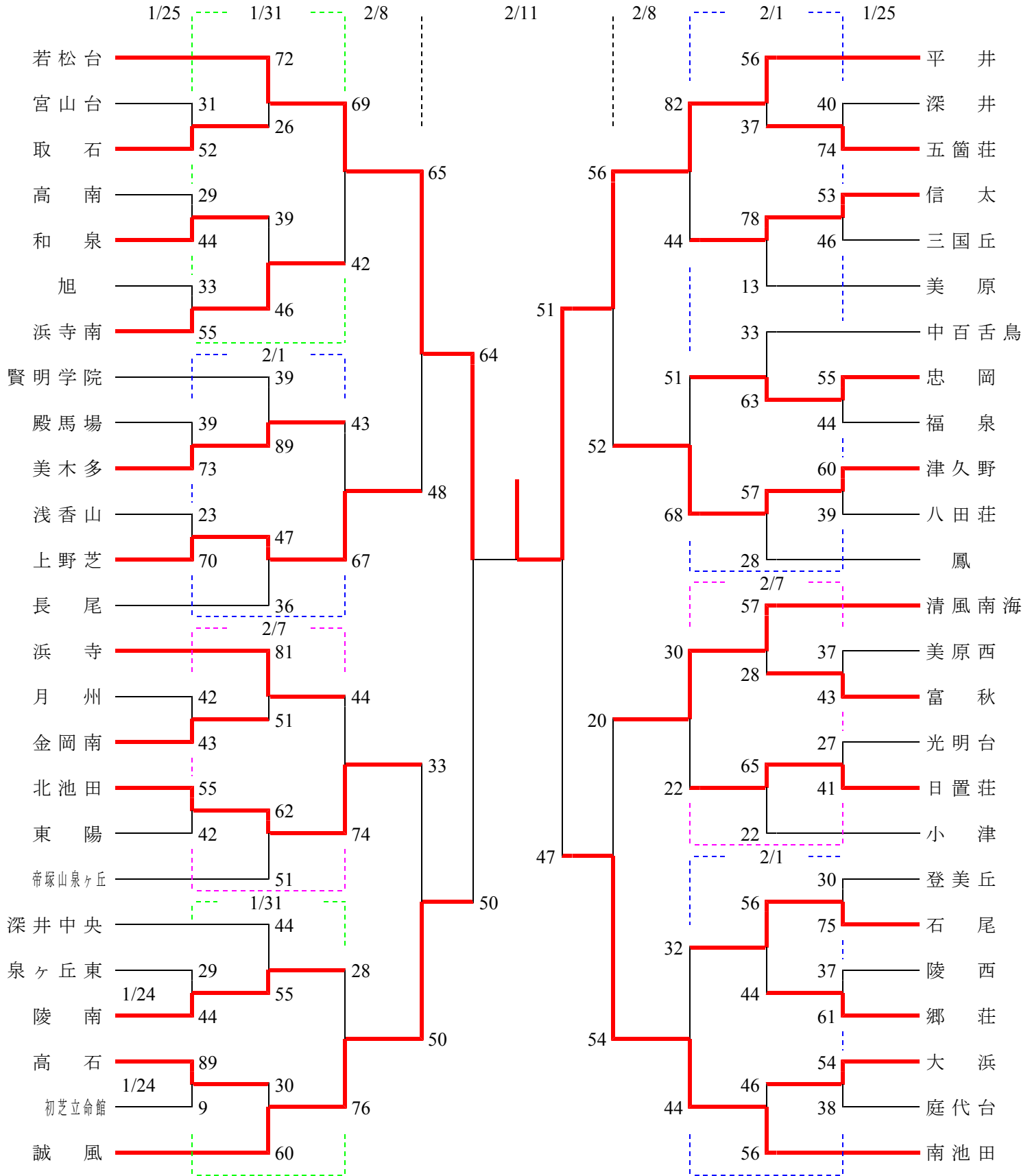


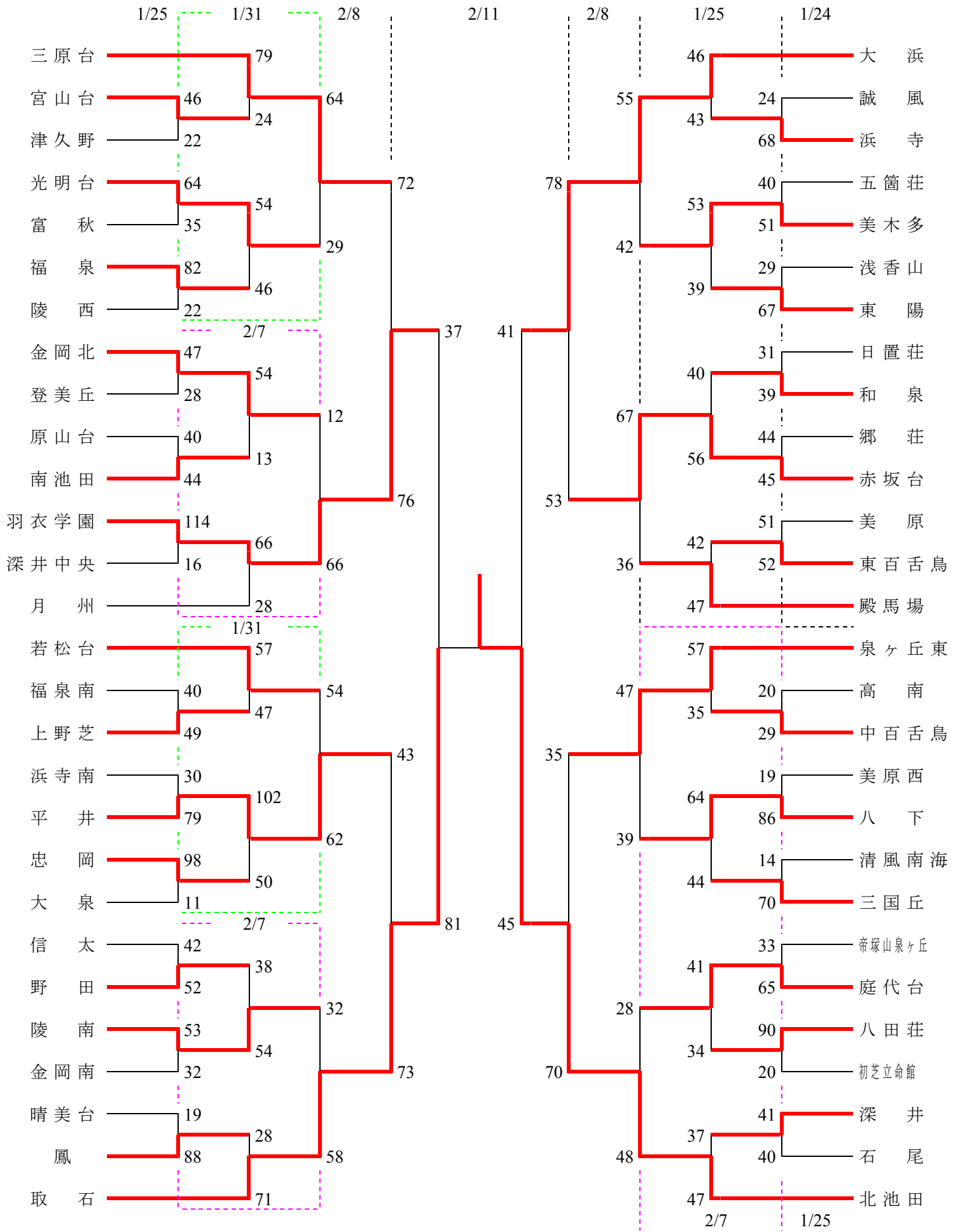
2014年度泉北地区新人大会

男子の部



決勝
 若松台 5 1 - 5 3 平井
 12 1Q 9
 12 2Q 12
 16 3Q 16
 11 4Q 16

女子の部



決勝
 取石 4 9 - 5 6 北池田
 13 1Q 7
 6 2Q 10
 17 3Q 20
 13 4Q 19

男子決勝戦評 若松台 51-53 平井

若松台④⑤⑥⑦⑭、平井④⑥⑦⑧⑨、両チームともにハーフコートマンツーマンでスタートする。

ゲーム開始から若松台はドライブを積極的にしかけ、④⑤⑦で連続ゴールをあげ8-0とリズムをつかむ。平井は⑥がフェイスガードされ攻めあぐむものの、相手のミスは速攻につなげ、12-9と食らいつく。

2Qでは若松台が⑤のインサイドを使おうと試みるが、平井はトラップをしかけ対応する。しかし、ここから若松台は⑦を起点に再びリードを広げる。対して平井は⑨の3Pや速攻で一時逆転に成功する。負けじと若松台もドライブをしかけ、24-21と3点差で前半を終える。

後半が始まると若松台のドライブが冴え、リードが広がり始める。セットプレーや速攻も決まり、11点差をつける。平井はたまたまタイムアウトで立て直しを図る。平井はディフェンスをゾーンプレスに変え、流れをつかむ。⑥のバスケットカウントや⑨の3Pであっという間に差を縮め、40-37として4Qでの勝負となる。

4Qで平井はディフェンスをハーフの1-1-2-1ゾーンに変え、若松台のリズムを狂わせる。平井も果敢にドライブから得点を重ね、3点のリードを奪う。対して若松台は⑤⑦の高さの利とフィジカルで対抗し、一進一退の好ゲームを展開する。平井は⑤の巧みなステップからの得点、⑥のジャンプシュートが炸裂し、残り10秒で51-53。ここで若松台はタイムアウトから⑥が3Pを狙うも外れてタイムアップとなる。平井が接戦を制し、優勝を果たした。

両チームともにドライブに対するチームディフェンスを課題としてさらなるレベルアップを目指してほしい。

(福嶋)

女子決勝戦評 取石 49-56 北池田

取石④⑤⑥⑦⑫の2-1-1-1のオールコートゾーンプレス、北池田④⑤⑥⑦⑧のオールコートマンツーマンで開始。

取石は⑦のドライブ、④から⑦への合わせなどで得点を重ねる。対する北池田は取石の厳しいディフェンスを攻めあぐね、なかなか攻めきれない。13-7で1Qを終える。

2Qは取石⑤のポストプレーから始まる。取石はディフェンスを緩めず、北池田はリバウンド、ルーズボールをがんばり、お互い我慢の時間が続く。19-17と接戦となる。

後半が始まると取石は⑥⑦の3P、④⑦のドライブ、北池田は⑥の3P、⑤⑦のゴール下の合わせで加点する。お互いに得点を取り合う展開となり、36-37で最終Qを迎える。

4Qは北池田⑥がスティールからドライブ、3Pなどで得点をあげる。対して取石は北池田のディフェンスを攻めきれず、タイムアウトで流れを変えようと試みる。その後、取石は⑫のポストプレー、⑦の1対1などで得点を重ねるものの、北池田の勢いは止まらず、49-56で見事に今大会を制した。

(竹内)